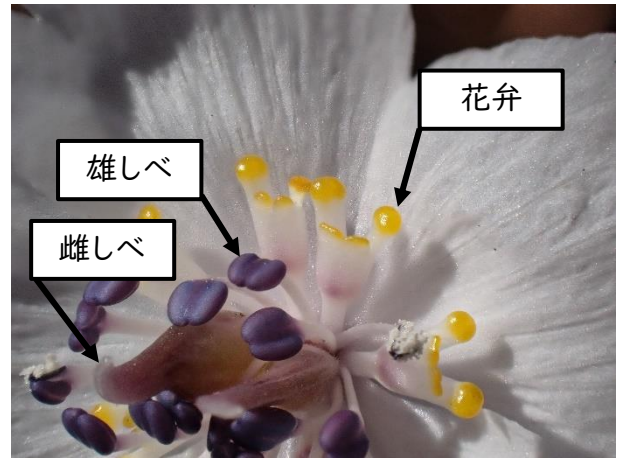


植物多様性センターの「セツブンソウの花」

雑木林エリアの木陰でセツブンソウが花を咲かせています。セツブンソウは山地の日陰に生育する多年草で、春の一時期だけ地上に姿を現して花を咲かせるスプリング・エフェメラルと呼ばれる植物のひとつです。花の外側にある花弁(花びら)のような白い部分は花弁ではなく萼片です。本当の花弁はというと雄しべの付け根あたりから出ている棒状のもので、5つの花弁が2裂して先端が黄色い蜜線となっています。



節分に咲くことから付いた名だが、野山で咲くのはもう少し先。



花拡大: 紫色の雄しべの中に、紅色の雌しべが数個ある。



雑木林の中などに群生する。石灰岩地を好む。



茎葉は茎の先端付近で対生して付く。